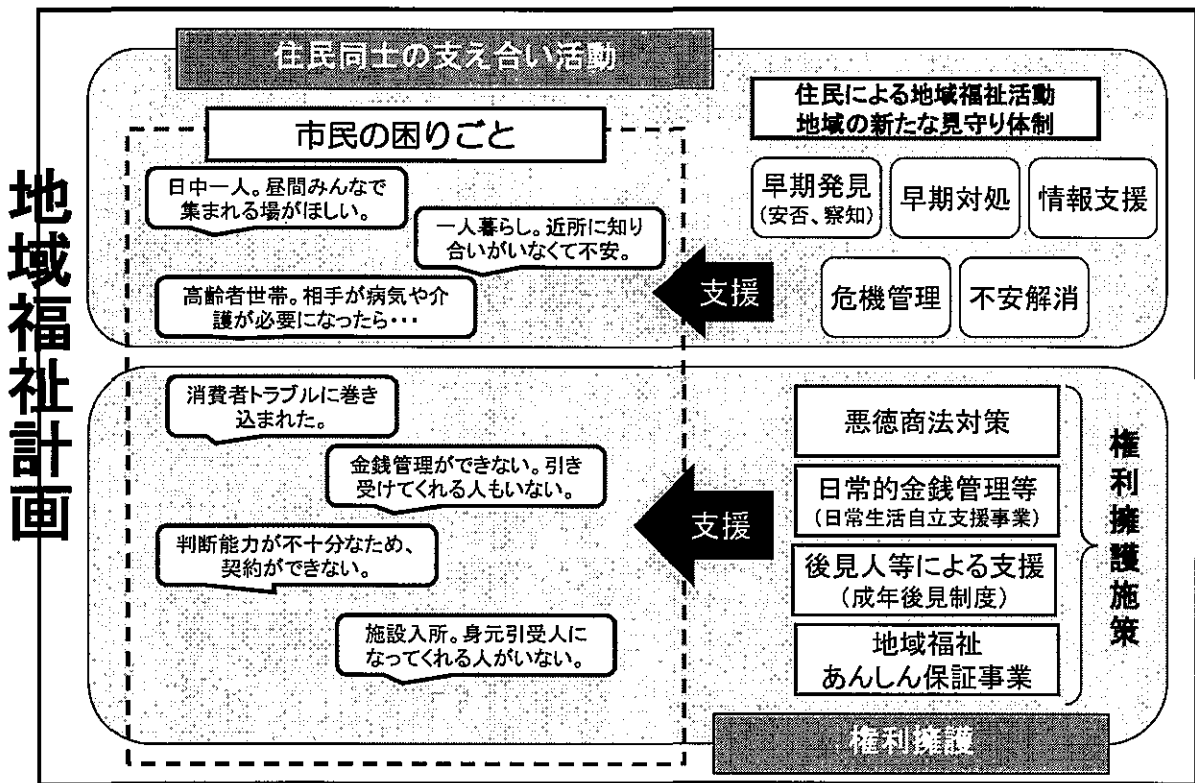


# 伊賀における支援方法

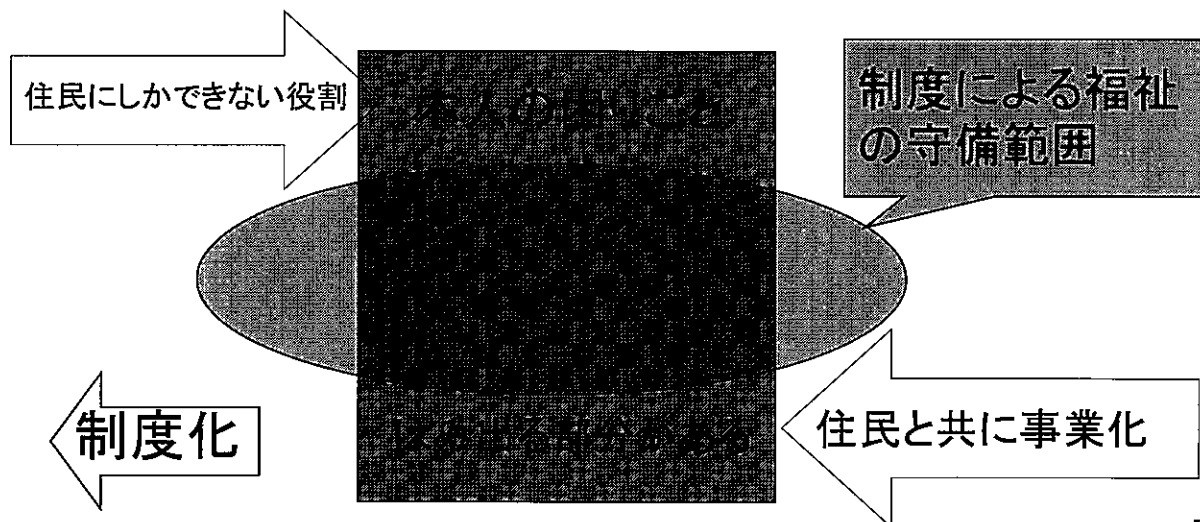
## ・ 支え合い活動と権利擁護施策

### 住民同士の支え合い活動と権利擁護施策



## 地域福祉の役割

制度でカバーされない部分を解決するしくみを創り出すことが必要



7

## 伊賀における支援方法

### ・悪徳商法対策

**悪徳商法お断り!!**  
悪徳商法撲滅に取り組んでいます。

伊賀市  
三重県消費生活センター  
伊賀警察署・名張警察署  
伊賀市社会福祉協議会

## 社協が悪徳商法対策をおこなう理由

- 伊賀地域に消費生活センターがない。
- 消費生活センターは、原則的に訪問しない。
- 行政機関は業者と本人の中立を保たなければならないが、社協は本人の立場に立てる。
- 多様な分野に関わる問題であることから横につなぐ必要がある。
- 悪徳商法はニーズ発見や権利擁護の入り口

## 当会での対策

- 相談を受ければ情報収集  
(書類や現地の確認、場合によっては専門職と訪問)
- 可能な手続支援(クーリングオフや内容証明)
- 本人の代弁をし、業者と直接交渉(本人同席)
- 相談概要一覧を作成し民生委員等関係者に周知
- ホームページ(ブログ)や広報でPR
- ふれあい・いきいきサロンなどでPR
- 市民参加の対策チームを養成(いが悪徳バスターズ)

## 悪徳商法対策も 地域の協力が大切

- ねらわれているのは高齢者や障がい者。
- 過去、訪問販売などに引っかかった方は、次々と様々なものを売りつけられる可能性がある。
- 悪質な訪問販売や勧誘があった場合は、近所へも連絡。  
隣近所で閉め出せば、2度とやってこない。
- 気楽に相談のできる体制を！！

**悪徳商法お断り!!**

悪徳商法撲滅に取り組んでいます。

伊賀市  
三重県消費生活センター  
伊賀警察署・名張警察署  
伊賀市社会福祉協議会

## 伊賀における支援方法

- 伊賀地域福祉後見サポートセンター

私のこれからは、私が決める。

成年後見制度の利用をお手伝いします。

## 伊賀地域福祉後見サポートセンター

- ・ きめ細やかな福祉的な支援を必要とする人を対象とし、成年後見制度の利用支援を伊賀地域において行う「福祉後見サポートセンター」を開設。
- ・ 伊賀市・名張市委託
- ・ 平成18年8月開設

13

## 伊賀地域福祉後見サポートセンターとは

地域における成年後見制度の利用支援を目的として、

相談・助言、情報提供、後見人等の候補者の確保・養成、コーディネート、申立て手続き支援等により

成年後見制度の利用を促進するとともに、後見人業務の支援機能を持ったセンター

## 伊賀地域福祉後見サポートセンターの機能

### ①成年後見制度利用支援

(相談・助言、情報提供、市長申立支援等)

### ②福祉後見人材バンク

(市民後見人 当方では、福祉後見人)

### ③後見人サポート (後見人のつどい)

### ④啓発・研修

### ⑤法人後見支援

サポートセンターでは、法人後見をしない。

15

## 市民後見人(福祉後見人)への期待

- すべての人が自らの問題として考えるために
  - 自立支援のためのネットワークづくり  
(被後見人等とのコミュニケーション・意思尊重)
  - 近隣や地域諸団体、関係者等の連携
- 市民ならではの後見活動を期待  
行政が関与したサポート体制は不可欠

16

## 伊賀における支援方法

- 日常生活自立支援事業  
（地域福祉権利擁護事業）

## 日常生活自立支援事業(伊賀市)

認知症高齢者	30件
知的障がい者	47件
精神障がい者	61件
その他	14件
合計	152件

（平成24年9月末現在）

## 伊賀における具体的支援手法

### ・保証機能にかかるとの取り組み



## 保証が求められる問題

### 求められる場面

- ・ 入居(アパート、施設)、入所、入院、就労(就職)  
入学、債務・・・ ↓
- ・ 家族や親族が急激に減少し、保証人のなり手が少なくなってきた。  
地縁・血縁・社縁 絆の弱体化
- ・ 「保証人等」の形骸化  
「保証人等」欄に名前を埋めることが目的？



## 取り組みのきっかけ

日常生活自立支援事業や成年後見制度(伊賀地域福祉後見サポートセンター)に取り組む中で、住宅や施設、病院への入居・入院、就職等における「保証」や「身元保証」が生活支援上の課題となることがあった。

この経験に基づき、地域の課題として、これら「保証」に関する課題を位置づけ、研究事業を行った。

平成20年度 厚生労働省社会福祉推進事業  
地域福祉の推進における「保証機能」のあり方に関する研究事業  
平成21年度 厚生労働省社会福祉推進事業  
「地域福祉あんしん保証システム」構築事業

## 地域福祉あんしん保証事業

高齢や障がいなど日常生活に支援が必要な人が、「保証人等」を求められた際、保証を求める側(事業者)と協議し、個別的に課題や対応を検討し、本人を支援する事業等を組み合わせることで、保証人等がいなくても、必要な入所、入居、入院、就職等ができる地域を目指すもの。

「保証人等」になる取り組みではない。

→「保証人等」をなくそうという提案。

## 「地域福祉あんしん保証事業」の実施に向けて

日常生活上で福祉的な支援ニーズのある人を対象として、一連の生活支援（地域福祉の視点に基づくソーシャルワーク）のなかで実施する。

この取り組みは、地域生活を継続していくうえで、保証の問題が現に「壁」として現れている人だけでなく、保証が必要となることを予防するための支援、新たな自立生活の可能性を生み出すより積極的な支援も行う。

→積極的権利擁護へ

23

## 積極的権利擁護（大阪市立大学大学院教授 岩間伸之氏）

### 権利侵害からの保護

- 虐待、経済的被害、機会の剥奪や不当な扱い、差別や中傷等から本人を守る

### 生活上の基本的ニーズの充足

- 人として生活するのに最低限必要な衣食住などの確保

「保証」を切り口に、本人らしい生活や変化を支えていく

- 本人の生き方を尊重し、本人が自分の人生を歩めるようにする = 自己実現の保障

24

## 伊賀における支援方法

- ・福祉でまちづくり

## 権利擁護(支援)を進めるために

権利擁護(支援)に取り組む姿勢と体制  
具体的には

- ・自己決定支援、意思決定支援の充実
- ・市民参画の促進
- ・孤立化防止(相談支援体制)
- ・行政との関係性、役割分担
- ・継続できる環境の整備(組織内外の連携)

## 最後に

- 地域の福祉課題は、地域にこそ解決の手だてがある
- 住民が解決過程に参加することで、地域全体が住みやすくなる
- 市民や関係機関がつながることで、大きな力を発揮する
- 支援者は、地域福祉を進める調整役
- これからは「福祉でまちづくり」

## 設立趣旨

- ・ 増大する（高齢者・障害者の）多様な権利擁護支援ニーズへの社会的な取り組み
- ・ 地域における権利擁護支援活動の推進
- ・ 多様な権利擁護活動に関する「実践現場」からの課題提起
- ・ 権利擁護の支援手法の標準化・普遍化
- ・ 権利擁護システムの構築と具体化のための法制度の整備

## <運営委員会>

- 代表 : 佐藤 彰一  
(PACガーディアンズ:千葉県)
- 副代表 : 田辺 寿  
(伊賀地域福祉後見サポートセンター:三重県)
- 副代表 : 竹内 俊一  
(岡山高齢者・障害者支援ネットワーク:岡山県)
- 事務局長 : 上田 晴男  
(PASネット:兵庫県)
- 運営委員 : 谷 徳行  
(宮城福祉オンブズネット「エール」:宮城県)
- 森高 清一  
(権利擁護支援センターふくおかネット:福岡県)
- 尾崎 史  
(あさがお:滋賀県)
- 東 啓二  
(南富良野町:北海道)
- 監事 : 今井 友乃  
(知多地域成年後見センター:愛知県)
- 事務局 : PASネット

## 入会案内

- 正会員 : 当団体の趣旨に賛同し、その活動に参加・協力する団体
- 賛助会員 : 当団体の趣旨に賛同し、その事業を支援する個人・団体

### ◆会費について◆

正会員 (団体のみ)	入会金	10,000円
	年会費	12,000円
賛助会員 (個人・団体)	入会金	なし
	年会費	1口 3,000円

### ◆お問い合わせ先◆

事務局 PASネットまで

誰もが

地域で自分らしく

暮らせるために...

## <事務局>

〒662-0913

西宮市染殿町6-20 コーポラスベル201  
特定非営利活動法人PASネット内

ASNET-JAPAN事務局

TEL : 0798-22-7551

URL : <http://www.asnet-japan.net/>

E-mail : [info@asnet-japan.net](mailto:info@asnet-japan.net)



全国権利擁護支援ネットワーク

誰もが地域で安心して暮せるために・・・  
地域で権利擁護に関わる支援活動を始めた団体が全国各地に生まれています

全国各地で権利擁護支援の実践を積み重ねてきた団体・個人が、権利擁護支援のネットワークを形成して、相互に学び合い、交流し協働することによって、それぞれの活動を充実・発展させ、全ての人に通じる支援として権利擁護の手法を普遍化していくことをめざします。

権利擁護の専門的な相談支援  
研修会等による地域啓発  
成年後見制度の利用支援  
「法人後見」の活用  
第三者後見人等の養成  
福祉オンブズマン活動等

ネットワークの原則

- ① 「目的と役割」の共有
- ② ゆるやかなつながり
- ③ 地域性・独自性の尊重

すすめよう！権利擁護

ひろげよう！支援の輪

近畿ブロック

- ・あさがお（滋賀県）
- ・Nネット（奈良県）
- ・PASネット（兵庫県）
- ・宝塚成年後見センター（兵庫県）
- ・東大阪成年後見支援センター（大阪府）
- ・NPOかんなびの丘（大阪府）
- ・高島市社会福祉協議会（滋賀県）
- ・山城権利擁護ネットワーク（京都府）
- ・西成後見の会（大阪府）
- ・成年後見センターもだま（滋賀県）

北海道ブロック

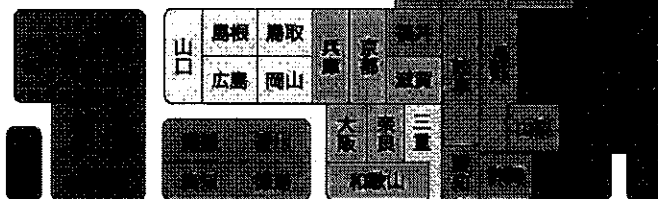
- ・南富良野町
- ・南富良野町社会福祉協議会
- ・小樽市社会福祉協議会  
（小樽・北しりべし成年後見センター）

東北ブロック

- ・そよ風ネットいわき（福島県）
- ・宮城福祉オンブズネット「エール」（宮城県）
- ・おたがいねっと（山形県）
- ・成年後見センターもりおか（岩手県）
- ・宮古圏域障がい者福祉推進ネット  
（レインボーネット：岩手県）
- ・あいづ安心ネット（福島県）
- ・県北あんしんネット（福島県）

中国・四国ブロック

- ・岡山高齢者・障害者支援ネットワーク（岡山県）
- ・成年後見ネットワーク鳥取（鳥取県）
- ・広島人権擁護センターほっと（広島県）
- ・権利擁護ネットワークほうき（鳥取県）
- ・久万高原町社会福祉協議会（愛媛県）



関東ブロック

- ・PACガーディアンズ（千葉県）
- ・湘南ふくしネットワークオンブズマン  
（神奈川県）
- ・東総権利擁護ネットワーク（千葉県）
- ・成年後見センターしくなるあいず（千葉県）
- ・かわさき障がい者権利擁護センター  
（神奈川県）
- ・東松山市社会福祉協議会（埼玉県）
- ・よこはま成年後見つばさ（神奈川県）
- ・埼玉県障害者相談支援専門員協会（埼玉県）
- ・あい権利擁護支援ネット（東京都）
- ・VAICコミュニティケア研究所（千葉県）
- ・川崎市障がい者相談支援専門員協会  
（神奈川県）

九州・沖縄ブロック

- ・権利擁護支援センター  
ふくおかネット（福岡県）
- ・沖縄市社会福祉協議会（沖縄県）

中部・東海・北陸ブロック

- ・東濃成年後見センター（岐阜県）
- ・伊賀市社会福祉協議会（三重県）
- ・知多地域成年後見センター（愛知県）
- ・田原市社会福祉協議会（愛知県）
- ・アドボネットながの（長野県）
- ・菰野町社会福祉協議会（三重県）
- ・松本市社会福祉協議会（長野県）
- ・燕市社会福祉協議会（新潟県）
- ・尾張東部成年後見センター（愛知県）
- ・四日市市社会福祉協議会（三重県）
- ・柏崎市社会福祉協議会（新潟県）
- ・となみ地域障害者成年後見福祉会  
（富山県）



計 50 団体(2012年9月現在)

## 【4. 參考資料】





**見直しませんか 支援のあり方・あなたのまち**  
～安心生活を創造するための孤立防止と基盤支援～

(安心生活創造事業成果報告書)

平成24年8月

安心生活創造事業推進検討会